

一級自動車工学科		2021年度		授業計画	
時期	4年A巡	単元	実習	教科名	インターン
科目	体験実習	教科書等 持参品	体験実習用ファイル（新規配布）	発行日	2021年4月1日
			各種資料（点検項目、法令など）		
総時限	112時限			教科担当	高梨/小林 ●■ 原田/谷森 ●■
1. 指導教員の実務経験					
販売会社での業務の実体験がある者、もしくはその業務を理解している者が指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
<p>学校で学んだ理論と技術を企業において実践し、熟練度を確認する。</p> <p>職場の厳しさ、生産性を配慮した作業方法、お客さま対応などについて学ぶ</p> <p>お客さま対応について実践で経験する。</p> <p>これらの経験から、今後の学習課題を具体的に自覚し、残された在学期間の目標を画策する。</p>					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
<p>組織の中で働くということを学ぶ</p> <p>販売会社の仕事を学ぶ</p> <p>実際に使われている自動車を学ぶ</p> <p>自動車を使っているお客さまを学ぶ</p>					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
<p>日誌</p> <p>共通課題</p> <p>個人課題</p>					
5. 準備学習					
各種実習（総合実習、お客さま対応など）					

※ ● ⇒実務経験がある教員

※ ■ ⇒日産資格保持者

一級自動車工学科

2021年度

授業計画

時期	A巡	単元	実習	教科名	インターン
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	リフト操作時	安全確認、声だし、目を話さない		車両落下、車両破損、	原田/谷森
2	エンジン始動時	運転席に座り、ドアを閉め、パーキングブレーキを引き、ニュートラル確認、ブレーキを踏み、安全確認及び声出しをして、始動すること。 始動時リフトを上げ、タイヤを地面から話しておく事。		車両の暴走により、机と衝突 作業中の作業者の巻き込み事故	
3	作業全般	回転部分への巻き込み防止		ベルト、駆動系への巻き込み事故	
4	タイヤ回転時	絶対にスポークをもって作業しない。		ディスクとパッドのすき間点検時に、スポーク部を持ってタイヤを回転させた為、ホイールのスポークと、ブレーキキャリパーの間に指を挟まれ粉碎骨折。	
5	冷却水の量点検	エンジン暖機時は、ラジエータキャップを開けない。		火傷	
6	ベルトの緩み損傷点検時	イグニッションキーは必ずOFFにする事 ラッチェットハンドルを使用する事。		最悪の場合、E/G始動の恐れあり スピナーを使用していた為、ケッチンを食らって裂傷	
7	下回り点検等	保護具を必ず着用する事		目に異物混入(最悪の場合失明) 手の裂傷	
8	設備	エアホース、リフト操作リモコンは静かに戻す事		人に当たったり、破損の原因になる	
9	車両移動	必ず誘導すること 誘導時は車の真正面、真後ろに立たない		事故防止 暴走時の防衛	
10	他	安全ハンドブックに準じる		安全ハンドブックに準じる	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室